DAIKIN

取扱説明書

ダイキンエアコン

《セパレート形》

床　置　形

室内ユニット

新冷媒シリーズ(R410A)

FVP50AL	**FVP80AL**
FVP56AL	**FVP112AL**
FVP63AL	**FVP140AL**
FVP71AL	**FVP160AL**

- このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコン付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。
  保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に　運転について　お手入れについて　知っておいてください

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

⃠	絶対にしないでください。	!	必ず指示どおりに行ってください。	⏚	必ずアース工事をしてください。
⃠	絶対にぬれた手で触れないでください。	⃠	絶対に水にぬらさないでください。		

■使用上の注意事項

⚠警告

●長時間冷（温）風を体に直接当てない、冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

禁止

●分解や改造・修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。

禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

禁止

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する

運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

⚠注意

●**特しゅ用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。

●**長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。

●**室外ユニットの上に乗ったり、
物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。

●**室内・外ユニットの真下や近くにぬれて
困るものは置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。

●**エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることが
あります。

●**室内ユニットの近くでほかの暖房器具を使わない**
暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。

●**動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。

●**吹出口の1m以内にスプレー缶などを置かない**
室内・外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれがあります。

●**本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。

●**室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない**
けがの原因になることがあります。

●**室外ユニットの吹出口を取り外さない**
ファンが高速で回転し、けがの原因に
なることがあります。

●**吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることがあります。

●**コントロールパネルは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の原因に
なることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店に
ご依頼ください。

●**室外ユニットの周辺に、物を置いたり、
落ち葉をためない**
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の
電気部品に触れると、故障や発煙・発火の
原因になることがあります。

●**ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。

●**エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることが
あります。

●**室内ユニットの上に花びんなど、水の入った
容器を置かない**
漏電によって感電や火災の原因になることが
あります。

●**ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因に
なることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーをしゃ断する**
感電やけがの原因になることがあります。

●**室内・外ユニット内部の洗浄は
お客様自身で行わず、
必ずお買上げの販売店に依頼する**
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水もれなどの原因に
なることがあります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

■据付上の注意事項

⚠警告

●**据付工事は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●**別売品の取付けは、自分でしない**
別売品は当社指定以外ものは使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店または
ダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。

●**移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●**アース工事を行う**
アースが不完全な場合は、感電や火災の
原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話の
アース線に接続しないでください。

●**漏電しゃ断器を取り付ける**
（専門業者へ依頼する）
感電や火災の原因になります。

●**冷媒もれ対策は、販売店に相談する**
万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。

⚠注意

●**可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない**
万一、ガスがもれてユニットの周囲に溜まると、
発火の原因になることがあります。

●**コントロールパネルに水のかかるおそれのある**
場所には設置しない
水が機器の内部に入ると、感電のおそれがある
ほか、内部の電子部品が故障する原因になる
ことがあります。

●**ドレン配管は、確実に排水するように施工する**
不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の
原因になることがあります。

据付場所について

●**まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？**

●**次のような場所では使用しないでください。**
- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ

●**防雪対策されていますか？**
防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

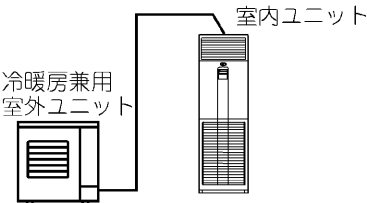
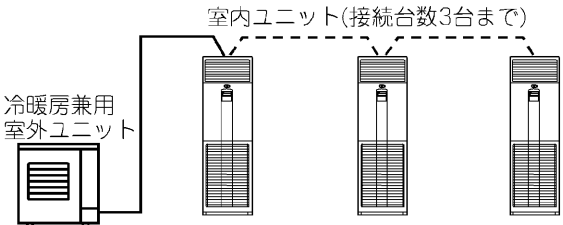
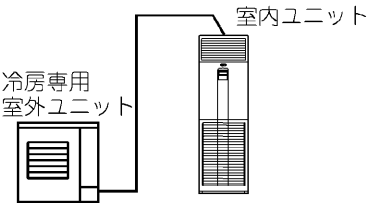
●**電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。**
お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●**エアコン専用の回路をご使用ですか？**

運転音にもご配慮を

●**次のような場所を選んでいますか？**
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●**室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？**
機能低下や運転音増大のもとになります。

●**使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。**

ドレン配管の排水について

●**ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？**
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、
ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニット
から水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

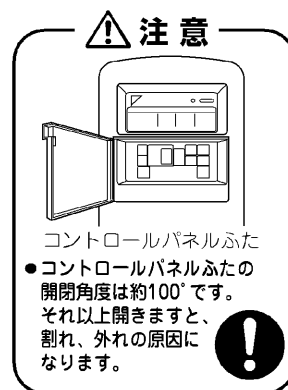
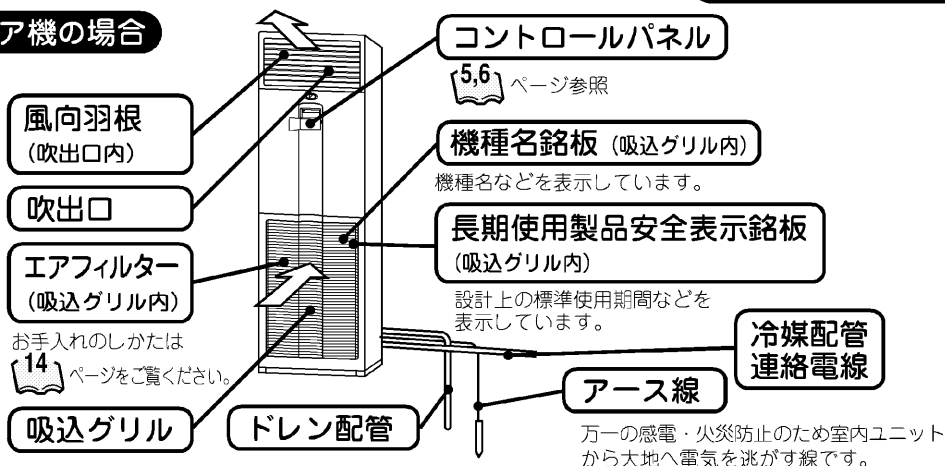
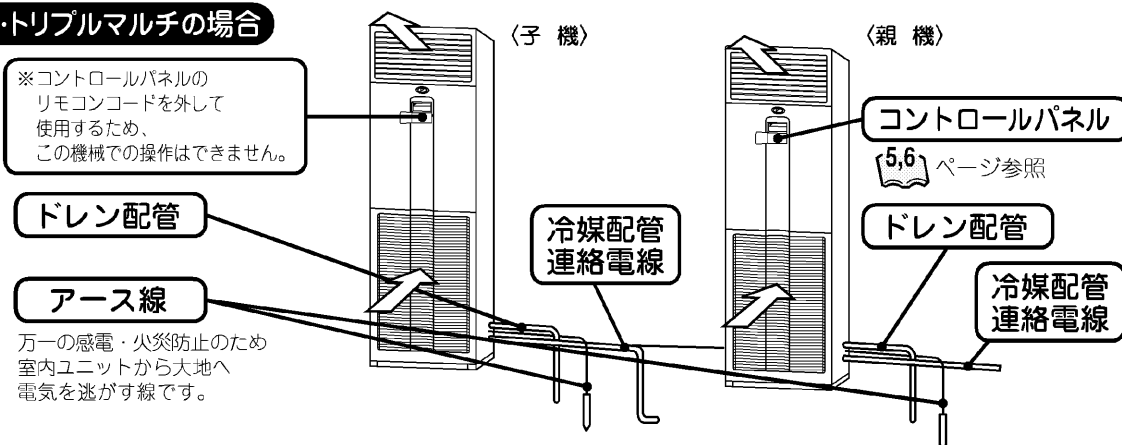
同時運転マルチシステムの説明

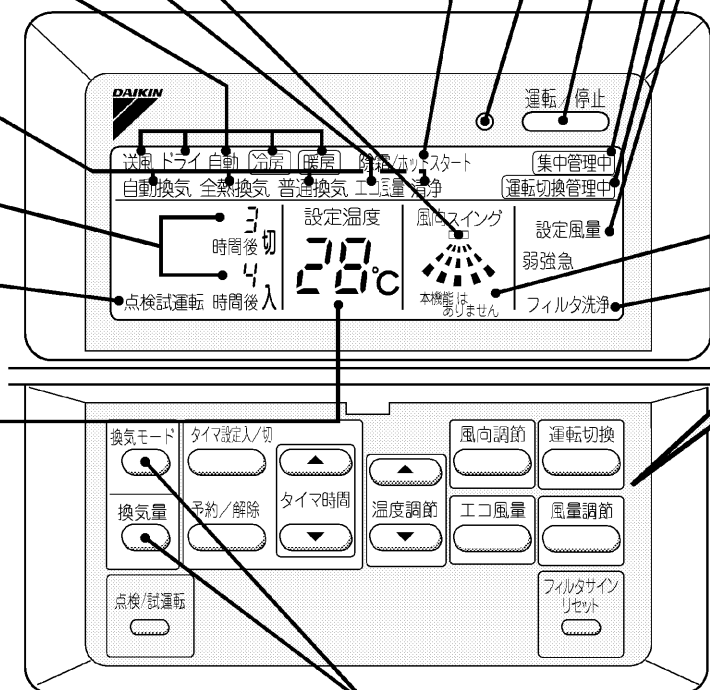
本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買上げの販売店に確認してから操作してください。

	ペアシステムの場合	同時運転マルチシステムの場合
冷暖房兼用タイプ	●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。 室内ユニット 冷暖房兼用室外ユニット	●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。 室内ユニット(接続台数3台まで) 冷暖房兼用室外ユニット
冷房専用タイプ	●冷房・マイコンドライ・送風運転ができます。 室内ユニット 冷房専用室外ユニット	

お願い

- 運転操作についてはリモコン付ユニットに付属の取扱説明書にしたがって操作してください。
  また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書を合わせてご覧ください。

各部の名前と働き

コントロールパネル各部の名前と働き

●室内ユニットにより装備している機能が異なります。装備されていない機能のボタン(本文中に記載のないボタン)を操作した場合には、「本機能はありません」が表示されます。
機能(ボタン)の詳細については、お買上げの販売店にご確認ください。

表示部

(上の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。)

お願い

- コントロールパネルに直射日光のあたる場所には設置しないでください
  液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- コントロールパネルのボタンを先のとがったもので押さないでください。
  破損し、故障の原因になることがあります。

集中管理中表示
集中制御機器(別売品)で管理され、コントロールパネルからの操作が禁止されているときに表示します。

運転切換管理中表示
この表示のあるコントロールパネルは「冷房」「暖房」「自動」「ドライ」の切換えができません。

風量表示
設定した風量を表示します。

機能なし表示
- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「本機能はありません」と数秒間表示が出ることがあります。
- 複数台同時運転の場合
  「本機能はありません」表示はすべての室内ユニットにその機能が装備されていないときに限り表示されます。
  1台でもその機能を装備した機種があれば表示されません。

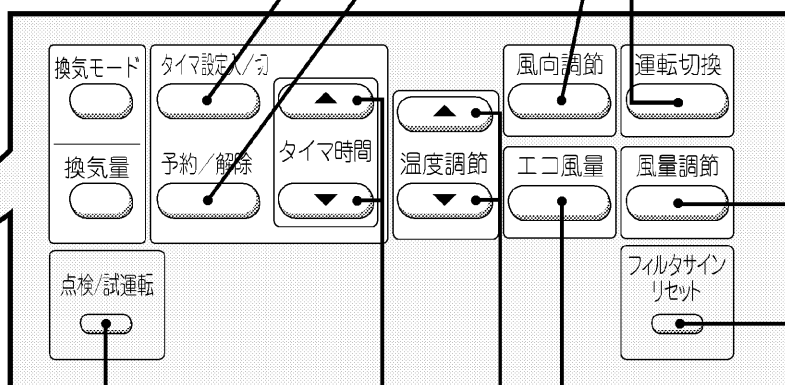
フィルタ洗浄表示
14 ページ参照

タイマ設定入/切ボタン
11,12 ページ参照

予約/解除ボタン
11,12 ページ参照

風向調節ボタン
10 ページ参照

風量調節ボタン
このボタンを押すごとに「弱」「強」「急」の3段階の調節ができます。

運転切換ボタン
運転モード(「冷房」「暖房」「自動」「送風」「ドライ」)を切り換えるときに押します。

点検/試運転ボタン(サービス用)
点検または試運転時に押します。
- 通常は使用しないでください。

タイマ時間ボタン
タイマー時間の設定のときに押します。
11,12 ページ参照

エコ風量ボタン
7,8 ページ参照

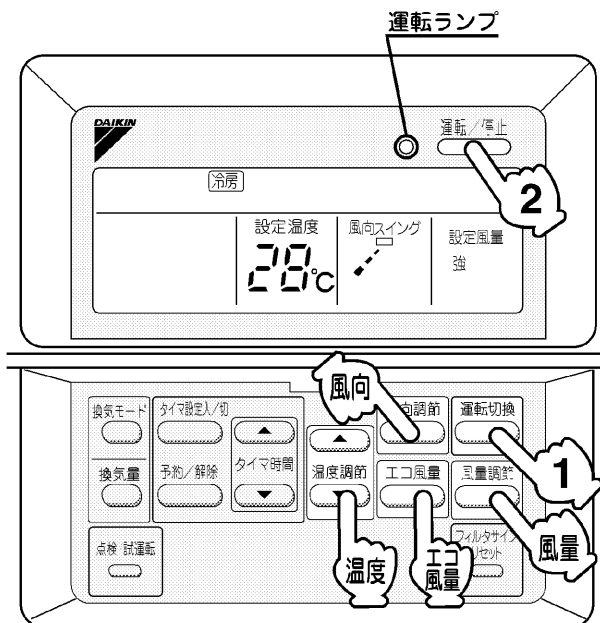
フィルタサインリセットボタン
14 ページ参照

温度調節ボタン
温度の設定のときに押します。
8 ページ参照

操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

運転のしかた

冷房・暖房・自動・送風運転のしかた

● 上の表示は冷房運転の場合です。

準備

● **機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。**
● シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

1

運転切換を数回押し、

→「送風」→「ドライ」→「自動冷房」→「暖房」→「冷房」→「自動暖房」→

のうちご希望の運転に切り換えます。
※ドライ（マイコンドライ）は

9 ページ参照

● 冷房専用タイプの場合は「冷房」と「送風」のみ設定可能です。

2

運転/停止を押します。
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

停止

もう1度**運転/停止**を押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

● 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間は送風運転します。

お願い
● **運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。**

運転の内容と働き

冷房
おすすめ設定温度は、26～28℃です。

暖房
おすすめ設定温度は、18～23℃です。

送風
室内の空気を循環させせます。

自動（冷暖自動）

● 運転中、ある室内温度を境に自動で
冷房運転 ←→ 暖房運転が切り換わります。

● **設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると自動で設定温度も変更します。**
（室温を一定に保つ運転ではありません。）

「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。
「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。

● 「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

例 「自動冷房」で27℃にセットされた状態から運転し、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。（②→①になったとき）
①の状態で、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。
（設定温度22℃）
暖房→冷房のときも同様になります。（①→②）

状態	①		②
室内温度	～ 25℃ ～		
設定温度	22℃		27℃
運転状態	暖房	送風	冷房
リモコン表示	自動暖房		自動冷房

エコ風量
室内ユニットの風量を自動で設定し、室外ユニットの運転をセーブして、省エネ運転を行います。
（マイコンドライ運転の場合は、この設定はできません）

温度

温度調節を押します。
「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。
「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。

- 送風運転の場合は設定できません。

風量

風量調節を押し、
「弱」「強」「急」のうちご希望の運転に
切り換えます。

- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。また、ファンが停止する場合もありますが、異常ではありません。
- 風量の切換完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

風向

風向調節を押します。
ページ参照

使用条件

下記以外の使用条件で長時間運転すると、安全装置が働き運転しないことや室内ユニットから露が落ちる場合があります。

運転モード	タイプ		温度調節条件（設定温度）※	使用条件（室内ユニット吸込空気）温度	使用条件（室内ユニット吸込空気）湿度
冷房	冷暖房兼用 冷房専用		20～35℃	21～32℃	80%以下
暖房	冷暖房兼用		15～30℃	15～27℃	――
自動	冷暖房兼用	冷房	20～35℃	21～32℃	80%以下
		暖房	15～30℃	15～27℃	――

※マイコンドライ・送風は設定温度の変更はできません。

エコ風量

エコ風量を押します。
「エコ風量」表示が点灯し、エコ風量運転を開始します。
解除するときは、もう1度**エコ風量**を押すか、**風量調節**を押します。
「エコ風量」表示が消灯します。

- 送風運転の場合は設定できません。

暖房運転の特性（暖房・自動暖房運転）

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
  タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、しばらく時間がかかります。
  エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転になります。
  コントロールパネルに「除霜／ホットスタート」が表示されます。
  コントロールパネルの風量は設定した状態が表示されます。

除霜運転

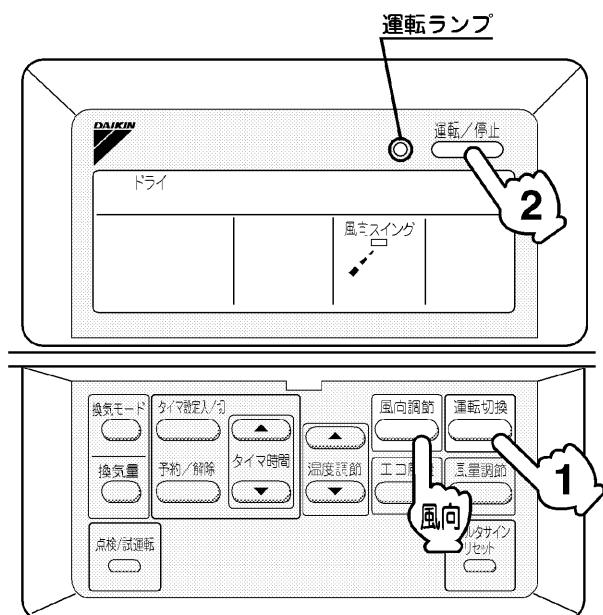
- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、コントロールパネルに「除霜／ホットスタート」が表示されます。
  ワイヤレスリモコンの場合は、温風が止まり、受光ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。
  （コントロールパネルの風量は設定した状態が表示されます。）
- 約6～8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」「シュー」音などがするときがあります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。
  このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
  （燃焼器具と併用の場合は、こまめに換気してください。）
  エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ（室内循環ファン）のご使用をおすすめします。
  詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、エアコンの風は微風運転になります。
  コントロールパネルには風量は設定した状態が表示されます。

冷房運転の特性（冷房・自動冷房運転）

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内機熱交換器に霜が着き冷房能力が下がる場合があります。
  その場合、自動でしばらくの間、除霜運転を行います。
  湿度が上がるのを防ぐため、風量「弱」運転になります。
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

マイコンドライ運転のしかた

準備	● **機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。** ● シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

1	**運転切換**を数回押し、 **「ドライ」**に切り換えます。

2	**運転/停止**を押します。 運転ランプ（赤）が点灯し、運転を開始します。

風向を変えたいときは

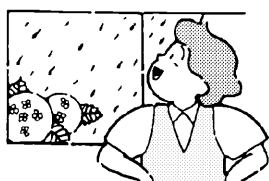
風向	**風向調節**を押します。 10 ページ参照

停止	もう1度**運転/停止**を押します。 運転ランプが消灯し、運転を停止します。

お願い
● **運転停止後、すぐに電源を切らないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。**

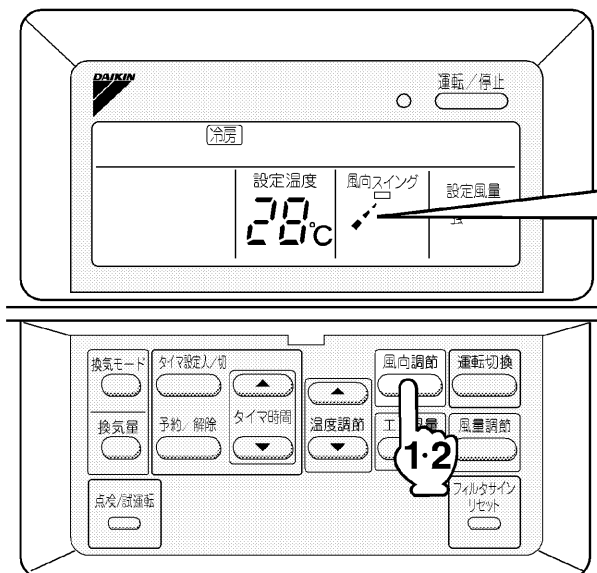
運転の内容と働き

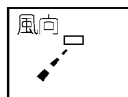
マイコンドライ

●マイコンドライとは、冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。

マイコンドライ運転の特性

● 室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行い、自動で風量・設定温度を設定するため、コントロールパネルには風量・設定温度の表示ができません。
（運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度です。）
室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
● 室内温度が低い状態で運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着く場合があります。
その場合、自動でしばらくの間、除霜運転を行います。

風向調節のしかた

左右の調節のしかた

風向調節を押します。

● 1度押すごとに図のように表示が変わります。

「風向」に表示が変わり、固定されます。

「風向スイング」に表示が変わり自動で左右に動きます。

風向を自動で動かしたいときは

1 **風向調節**を押し、表示を**「風向スイング」**に切り換えます。
「 」の表示が自動で動きます。

風向を固定させたいときは

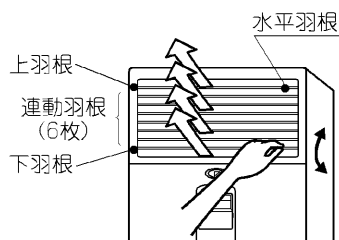
2 「 」の表示がご希望の位置にきたときに、**風向調節**を押します。
風向が固定され、表示が**「風向」**に切り換わります。

上下の調節のしかた

吹出口の水平羽根は、上羽根・下羽根とも合わせて手で上下に調節してください。

冷風はやや上向き、温風はやや下向きにすると、効果的です。

● **上羽根・下羽根と連動羽根が重なった状態で運転されますと、露が落ちる原因になります。必ず、上羽根・下羽根・連動羽根ともに同じ方向に向けてください。**

運転について

運転の内容と働き

風向調節には次の3通りがあります。

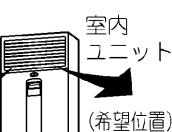
左右の風向

左右風向調節

45°〜135°の間で5段階に風向を固定することができます。
(ルーバーの角度ではありません。)

室内ユニット
(希望位置)
(希望位置)

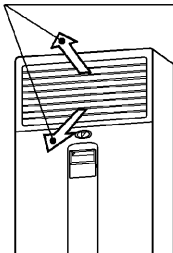
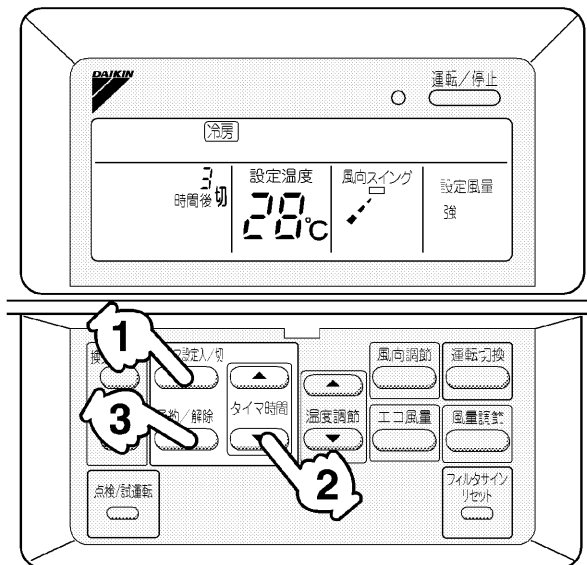
左右風向スイング

機械が自動で風向を左右させます。

上下の風向

上下風向調節

手動により、上下方向のご希望の位置に風向を固定させることができます。

お願い

● **上羽根·下羽根と連動羽根が重なった状態で運転されますと、露が落ちる原因になります。必ず、上羽根·下羽根·連動羽根ともに同じ方向に向けてください。**

タイマー運転のしかた

● 上の表示は「3時間後 切」の場合です。

1

タイマ設定入/切を押し、
「時間後 切」か**「時間後 入」**
を選びます。
押すごとに表示が、

「表示なし」→「時間後 切」→「時間後 入」

と切り換わります。
「時間後 切」または「時間後 入」が点滅します。

2

タイマ時間を押し、時間を設定します。
「▲」を押すごとに1時間ずつ進みます。
「▼」を押すごとに1時間ずつ戻ります。

● 最大72時間まで設定できます。

3

予約/解除を押します。
これで予約完了です。
「時間後 入」または「時間後 切」が
点滅から点灯に変わります。

● 予約が済むと時間表示部に残り時間を表示します。

タイマー運転を取り消したいときは

取り消し

もう1度**予約/解除**を押します。
表示が消えます。

運転の内容と働き

ご希望の時間運転後停止させたいときは 時間後	ご希望の時間経過後運転を開始させたいときは 時間後
例 時間を「8」にあわせると 「8時間後 切」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を停止します。 (注)運転停止後予約は解除され、表示が消えます。	例 時間を「8」にあわせると 「8時間後 入」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を開始します。 (注)運転開始後予約は解除され、表示が消えます。

「時間後 切」と「時間後 入」を同時に予約したいときは

●下の例を参照して操作してください。

例 3時間後に停止し、その1時間後に運転する場合

↓

「3時間後 切」と「4時間後 入」とを設定します。

① **タイマ設定入/切**を押し、**「時間後 切」**を選びます。
（「時間後 切」が点滅します。）

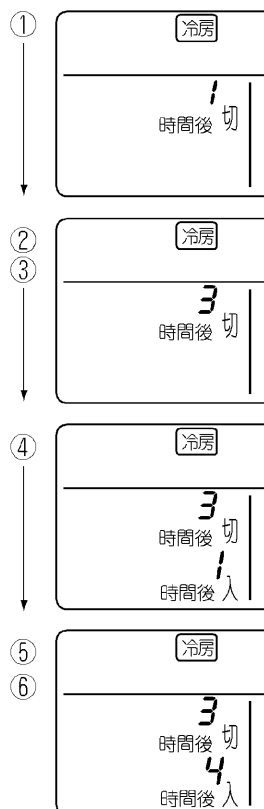
② **タイマ時間**を押し、時間を**「3」**に設定します。

③ **予約/解除**を押します。
「3時間後 切」が設定されます。
（「3時間後 切」が点灯に変わります。）

④ 次に**タイマ設定入/切**を押し、**「時間後 入」**を選びます。
（「時間後 入」が点滅します。）

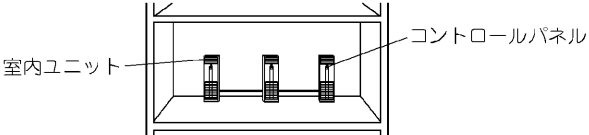
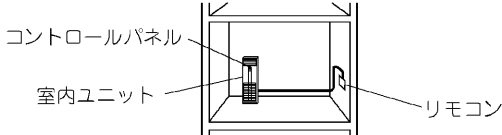
⑤ **タイマ時間**を押し、時間を**「4」**に設定します。

⑥ **予約/解除**を押します。
「4時間後 入」が設定されます。
（「4時間後 入」が点灯に変わります。）
これで同時予約完了です。

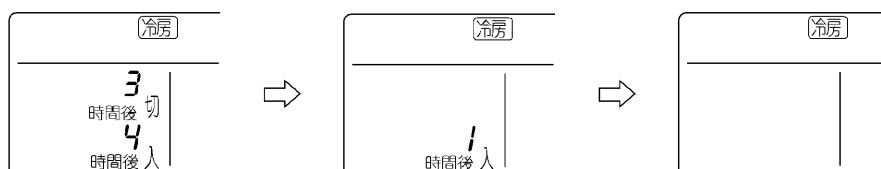
●タイマー設定は、1回のみ有効です。
毎日タイマー設定するときは、
都度設定してください。

「時間後 切」「時間後 入」を同時に予約した場合

● 予約完了したときから同時に残り時間をカウントし、表示します。

例

「3時間後 切」
「4時間後 入」 予約します。

3時間後に運転を停止します。
停止した1時間後から運転を開始します。

運転開始後予約は
解除されます。

運転について

複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのコントロールパネルでグループ制御	2リモコン制御
● 1つのコントロールパネルで最大16台まで運転操作できます。 ● すべての室内ユニットが同じ設定となります。 	コントロールパネルとリモコンで1台(グループ制御の場合は1グループ)の室内ユニットを運転操作できます。

お願い

● **グループ制御・2リモコン制御の組合せや設定・変更する場合はご自分でなさらずに、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。**

上手な使いかた

●冷房中は直射日光を入れないようにしましょう

窓にはカーテンかブラインドをつけてください。

禁止

●テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

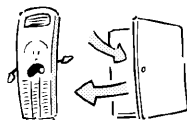
●ドアや窓を開けたままにしないようにしましょう

運転効率が悪くなります。

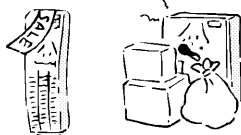
禁止

●長時間使用しないときは電源ブレーカーをしゃ断しましょう

電源ブレーカーが入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※1)を消費するためです。
ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。
(※2)

※1 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
※2 設定は、電源ブレーカーをしゃ断する前の状態を記憶しています。
(タイマー設定は消去されます。)

●吹出口・吸込口の近くにものを置かないようにしましょう

能力が低下、または運転が停止することがあります。

禁止

●冷やし過ぎ、暖め過ぎに注意しましょう

電気のムダ使いになります。

●風向調節を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。
風向は、冷房･ドライ時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当てないようにしてください。

9,10 ページ参照

●エアフィルターはこまめに清掃しましょう

汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

14 ページ参照

●タイマー運転を有効に使いましょう

室温が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

⚠警告

●**可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●**エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する**
感電やけがの原因になることがあります。

- **清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。**
  故障の原因になることがあります。
- **吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。**
  性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた

コントロールパネルに「フィルタ洗浄」が表示されたら、清掃してください。

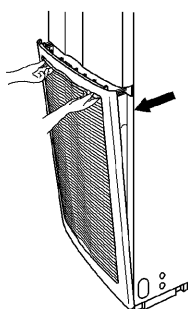
- 一定時間運転すると表示します。

- 表示されるまでの時間を変更することができます。
  汚れの多いところでご使用になる場合はお買上げの販売店へご連絡ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

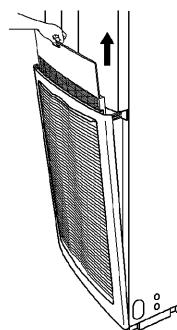
- 汚れがとれなくなりましたらエアフィルターを交換してください。
  （交換用エアフィルターは別売品です。）

19 ページ参照

1.吸込グリルを開けます。

ゆっくり手前に引いてください。

- **少ししか開かないようになっています。無理に引っぱらないでください。**

2.エアフィルターを取り出します。

ゆっくり上へ引き上げてください。

3.清掃します。

汚れは電気掃除機、または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。 ➡ 水切りし、日陰で乾かしてください。

- **50℃以上のお湯で洗わないでください。**
  変色や変形の原因になることがあります。
- **火であぶらないでください。**
  燃える原因になることがあります。

4.エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

5.吸込グリルを閉めます。

1と逆の手順で閉めてください。

6.コントロールパネルのフィルタサインリセットを押します。

「フィルタ洗浄」表示が消えます。

- 運転中、停止中のどちらの状態でも表示を消すことができます。

吹出口・吸込グリル・外装・コントロールパネルの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとった後、からぶきしてください。

お願い

- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
  障害物がある場合は取り除いてください。
  障害物の影響で、風量低下による能力低下や機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
  清掃のしかたは 14,15 ページ参照
- 清掃後は、フィルタサインリセットボタンを押してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーが入れば、コントロールパネル表示部の文字が表示されます。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの原因になるためです。

電源ブレーカーをしゃ断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット〜数十ワットの電力を消費します。
  節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源ブレーカーがしゃ断されると、コントロールパネル表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは 14,15 ページ参照